

出展マニュアル — 発電機 / 圧縮機 / 溶接機

下記部位の写真とコンディションレポートを送信してください。
「外観」の写真は画面いっぱいに行きわたるだけ大きく撮ってください。

順番	部位	特記事項
(1)	外観	斜め左前方(約20~30度)
(2)	外観	斜め左後方(約20~30度)
(3)	外観	斜め右前方(約20~30度)
(4)	外観	斜め右後方(約20~30度)
(5)	操作パネル	
(6)	プレートまたは刻印	
(7)	エンジン周辺	
(8)	ホース等をつなぐ部位	
(9)	問題箇所	分かりやすく数枚撮影

コンディションレポートの記入方法

(1)	Model	モデル名
(2)	Serial No.	製造番号
(3)	Year	製造年(不明の場合は未記入)
(4)	Hour	アワーメーターの数値
(5)	Generator	出力(KVA)を記入。 ・電圧(V)、電流(A)、周波数(Hz)を確認
(6)	Compressor	馬力(HP)を記入。 ・吐出圧力(MPa)を確認。 ・エアコックを全開にして吐出空気量(m ³ /min) およびエンジンスロットルの確認
(7)	Comment	異常(故障)内容を記入
(8)	Important Notice	異常(故障)内容を記入
Engine:		
(1)	Engine Model	モデル名、製造番号を記入
(2)	Exhaust Color	排ガスの色を確認し、異常があれば色を記入
(3)	Blow-By	ブローバイがあるか否かを確認し、結果を記入
(4)	Radiator	水漏れ・オイル混入を確認し、結果を記入 (オイル混入がある場合は吹き返しがあるかを確認し、結果を記入)
(5)	Engine Oil	水などが混入しているかを確認し、結果を記入
(6)	Turbo	正常に動作しているかを確認し、結果を記入
(7)	Fuel Type	燃料の種類を記入
(8)	Comment	特記事項を記入
<p>エンジン動作については、「スタート⇒スロットル調整⇒エンジンストップ」の一連の動作を必ず確認してください。</p>		

(ご希望の方はサンプル画像を送信しますのでご連絡ください。)

発電機 / 圧縮機 / 溶接機

メーカー		作業時間		点検場所	
モデル		製造年		点検日付	
製造番号		走行距離	(km)	点検者	印

エンジン

メーカー		製造番号		
モデル		排ガス対策		
オイルの白濁	無し・有り ()	排気色	黒・青・白・透明	
オイルの量	適量・要補充・オーバーフロー	エンジン音	正常・異音 ()	
ラジエター	不凍液の量	適量・要補充・オーバーフロー	ブロウバイ	無し・有り ()
	水漏れ	無し・有り ()	バッテリーの性能	新品・正常・要充電・要交換
	目詰り	無し・有り ()	コメント:	
	腐食	無し・有り ()		
	オイル混入	無し・有り ()		
オイルクーラーの異常	無し・有り ()			
エンジン周辺の油漏れ	無し・有り ()			
	タペットカバー タイミングカバー ヘッドガスケット フロントオイルシール オイルパンガスケット 噴射ポンプ 燃料系 ターボタービン			

発電機

		コメント
スロットル	正常・異常	
出力電力	正常・異常	
周波数(Hz)	正常・異常	
エンジンストップ	正常・異常	

圧縮機

		コメント
エンジン始動	正常・異常	
エンジン操作スイッチ	正常・異常	
空気圧	正常・異常	
操作スイッチと空気圧計のリンク	正常・異常	

溶接機

		コメント
スロットル	正常・異常	
周波数(Hz)	正常・異常	
エンジンストップ	正常・異常	